別　紙

第２５回　秋田県特別支援学校総合体育大会

フライングディスク競技　細則等

１　監督会議

・参加各校から担当１名の出席を要請する。

・監督会議は受付を兼ね、出場者の確認と欠席届の回収を行う。

２　競技細則

◆アキュラシー種目◆

（１）区分

「小」「中」「高」の３区分とし、障害種によるクラス分け、性別によるクラス分けはしない。

（２）競技種目

① ディスリート・スリー　：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を３ｍとする。

② ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を５ｍとする。

（３）競技方法

① 試技は１０投連続して行う。

② 投げ方は自由とする。

③ 競技上有利となる用具の使用は認めない。

④ プレーヤーが視覚障害者の場合は競技役員がアキュラシーゴール後方３ｍの距離から電子音によってアキュラシーゴールの中心部の位置を知らせることができる。

⑤ 試技の時間は、プレーヤーが１投目のディスクを受け取ってから５分とする。５分を超えた試技は無効とする。

（４） 得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。

逆方向から通過した場合は得点とならない。

（５） 順位の決定

① 順位は得点の多さで決定する。

② 同得点の場合は、第１得点を先に挙げた者を上位とする。第１得点が同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。

③ ②の方法によって１位、２位、３位が決定しない場合は、１セット（３投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。ただし、４位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず、同順位とする。

④ ③の方法によって再投を行った結果、同得点となり１位、２位、３位が決定しない場合は②の方法によって順位を決定する。

⑤ 再投は３位が決定するまで、最大５セットまで行う。

⑥ ⑤の方法によっても順位が決定しない場合は、同順位とする。

（６） 反則

・試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたとき。またはスローイングラインを踏み越えたとき。

・ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。

反則のあった試技は１投の試技とみなすが、得点は無効とする。

◆ディスタンス種目◆

（１）区分

・座位女子（レディース・シッティング）　・立位女子（レディース・スタンディング）

・座位男子（メンズ・シッティング）　・立位男子（メンズ・スタンディング）

（２）競技方法

① プレイヤーは競技エリア内で試技しなければならない。

② プレイヤーは試技の前に１投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので色は黄色とする。

③ 競技は３投連続して行う。

④ 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方１８０°とする。

⑤ 距離の計測は、スローイングライン計測点から、ディスクが最初に触れた地点までとする。

⑥ 投げ方は自由とする。

⑦ 競技上有利となる用具の使用は認めない。

⑧ 試技の時間は、プレイヤーが１投目のディスクを受け取ってから３分とする。３分を越えた試技は無効とする。

⑨ 座位で競技をする場合のシートの高さはクッションを含め、７５㎝以下とする。

（３）記録

① 記録は３投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。

② 計測は㎝単位とし、１㎝未満は切り捨てる。

（４）順位の決定

同順位の場合、１位、２位、３位は１投の再投（追加試技）により決定する。再投は順位が決定するまで行う。４位以下のものが同順位の場合は、再投は行わず、同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

（５）反則

① スローイングエリア内から助走したとき

② その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

３　選手の介助

・介助が必要な場合は事前に申請することとする。当日の変更などは認めない。

・選手が視覚障害者以外の場合、介助者の介助は移動時に限り、スローイングエリアへの立ち入りはできない。また、介助者からプレーヤーへの指示や技術的な指導、競技上有利になるような助言はできない。

・選手が視覚障害者の場合、競技状況を知らせるための介助者がスローイングエリアに１名同行できる。アキュラシーの場合、介助者が伝えられるのは投げる方向、通過・不通過の状況で、技術的な助言はできない。

・介助者は各サイトの審判の指示に従う。介助者に度重なる違反がある場合は退場を命じられることがある。

４　欠席の手続き

・前日までに欠席が分かっている場合は、欠席届を特体連事務局に提出する。
・当日の欠席は、本部前に設置してある欠席届に記入して監督会議で報告のうえ、用紙を提出する。
・欠席用紙は競技ごとに異なる。選手が両方の競技にエントリーしている場合は、アキュラシーとディスタンスの競技ごとに欠席用紙を提出する。

欠席届の様式

・アキュラシー

アキュラシー　欠席届

学校名	選手番号	選手氏名	出場組
			（　　）部（　　）M（　　）組

第２５回　秋田県特別支援学校総合体育大会「フライングディスク競技」

提出者（学校名・職員氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※提出後の変更は認められません。
※この用紙は選手１名につき１枚使用します。

・ディスタンス

ディスタンス　欠席届

学校名	選手番号	選手氏名	出場組
			（　　）部（　　）位（　　）組

第２５回　秋田県特別支援学校総合体育大会「フライングディスク競技」

提出者（学校名・職員氏名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※提出後の変更は認められません。
※この用紙は選手１名につき１枚使用します。

備　　考

・撮影場所・・・・撮影が可能な場所はプレイエリアから距離が離れています。
※実施要項を参考にして、撮影用カメラや撮影用レンズを御準備ください。

・問合せ先・・・・大 会 前：特体連事務局までお問い合わせください。
大会当日：競技会場でお近くの専門部員にお問い合わせください。